

中学校(1)

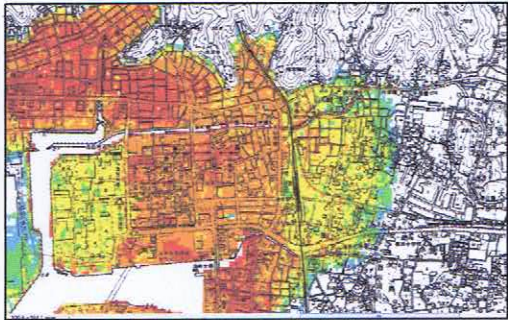
■ II 対処行動を知る B 津波からの避難方法を知る (学級活動 1時間)

1 目標

津波避難三原則の意味を理解する。

津波避難三原則を踏まえて、津波浸水予測図の活用を考えることができる。

2 展開

	学習活動と内容 主な発問・指示 (◇) 予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○) と評価 (☆)
【導入】	<p>1 学習課題「津波浸水予測図をどう活用すればよいか」を把握する。</p> <p>◇津波浸水予測図を読み取ってみよう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">地域の津波浸水予測図(拡大)を提示</p>  <p style="color: red;">詳細な地図でなくても、それ用に作成した生徒も見やすい地図にしてもいいのではないでしょうか。</p> <p>参考【資料-459】 海南市の津波浸水予測図</p> <p>紫・・・5.0m以上 赤・・・3.0m以上～5.0m未満 橙・・・2.0m以上～3.0m未満 黄・・・1.0m以上～2.0m未満 緑・・・0.5m以上～1.0m未満 水色・・・0.5m未満</p> <p>◇大きな地震が発生し大津波警報が発令されたときに、赤色に着色された場所A、緑色に着色された場所B、着色されていない場所Cにいたら、それぞれどんな行動をするだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AやBの場所にいたら、Cの場所へ避難する。</li> <li>・ Cの場所なら安全</li> </ul>	<p>○校区の津波浸水予測図があれば提示する。校区に津波による浸水が想定されていない場合は、校外学習等で出かける可能性のある地域の津波浸水予測図を用いる。生徒が具体的な場所をイメージできるように、一部を拡大したものをスライドや黒板掲示として提示する。</p> <p>※各地の津波浸水予測図(平成17年3月作成)</p> <p>和歌山市【資料-451】～【資料-458】 海南市【資料-459】 【資料-460】 有田市【資料-461】 【資料-462】 : 串本町【資料-485】～【資料-490】 那智勝浦町【資料-491】～【資料-493】 太地町【資料-494】 新宮市【資料-495】 (和歌山県情報館:総合防災課:和歌山県津波浸水予測図:県全域図)</p> <p>○東海・東南海・南海地震が同時発生し、津波が来襲した場合を想定して作成されているものであることを知らせる。</p> <p>○着色されていない部分は津波による浸水が想定されておらず、この図からは安全なイメージを受けを確認しておく。</p>

学習活動と内容  
 主な発問・指示 (◇) 予想される子どもの反応 (・) など

指導上の留意点  
 支援 (○) と評価 (☆)

2 東日本大震災発生時における釜石東中学校の事例を学ぶ。

**【資料-401】を提示**

◇「東日本大震災で被災した釜石市鵜住居(うのすまい)地区のの浸水予測図」はどのように作られたのだろうか。

明治及び昭和三陸津波や昭和35年のチリ地震津波の浸水域をもとに作成されています。  
 丸数字は一次避難所を示しています。

**【資料-402】を提示**

◇「東日本大震災による死者・行方不明者居住地分布」のような状況になったのはどうしてだろうか。

- ・津波浸水予測図で安全だと考えてその場所にとどまった。
- ・これまでの津波で浸水したことがなかったので安全だと考えていたのではないかな。

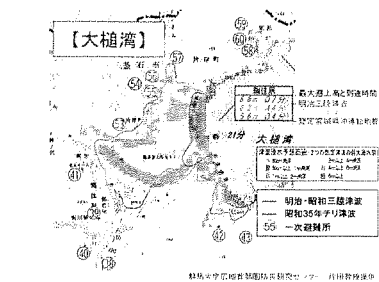
**【資料-403】を提示**

◇釜石東中学校と鵜住居小学校は浸水予測範囲の外側にあります。小学校の校舎は津波でこのような状態になってしまいました。当日、児童や生徒はまだ学校にいたそうです。この津波で、子ども達や先生はどうなったと思いますか。

- ・多くの犠牲者が出たのではないかな。
- ・何人かは犠牲になったのではないかな。
- ・他の場所に避難できたのだろうか。

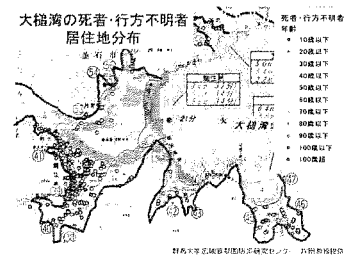
**【資料-404】を提示**

◇想定をはるかに超える大津波に襲われながら、両校の児童生徒が全員無事であったことは、新聞でも大きく報道されていました。このときの避難の様子を見てみましょう。



【資料-401】

○これまでに大きな被害をもたらした津波による浸水域をもとに作成されていることを知らせる。



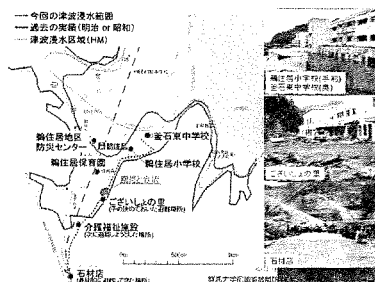
【資料-402】

○赤や黄色の部分では死者はおらず、浸水が想定されていない場所で多くの死者が出ていることに気付かせる。



【資料-403】

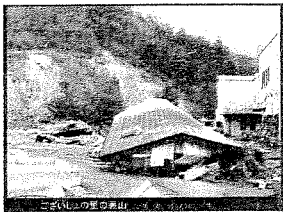


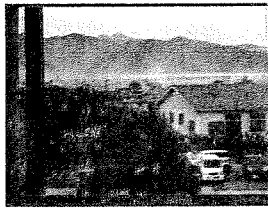

○前出の【資料-402】で、両校の位置を確認する。また、小学校は3階建ての鉄筋校舎で、耐震工事を済ませて間もなかったことを知らせる。  
 ○数人に発表させた後に、全員無事であったことを知らせる。



【資料-404】

○【資料-404】を提示しながら、以下の概要を説明する。

【展開】

学習活動と内容 主な発問・指示 (◇) 予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○) と評価 (☆)
<p>率先避難について、このときのものならより詳しいもの（具体的な話、資料など）このとき以外のものなら、ここで使える具体例、資料があれば、より効果を上げられるように思いました。</p> <p style="text-align: center;"><b>【資料-405】～【資料-409】を提示</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-405】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-406】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-407】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【資料-408】</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>【資料-409】</p> </div> <p>◇児童生徒たちが全員無事だった理由を考えてみよう。</p> <p style="text-align: center;"><b>ワークシート【資料-410】を配付</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が小学生に避難するように指示した。</li> <li>・当初、想定していた避難場所でも危険だと判断できたことが大きな原因だ。</li> <li>・想定にとらわれず、状況を判断しながら行動した。</li> <li>・日頃から避難訓練や防災学習を積み重ねていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の近くにある中学校の生徒が、すぐに避難するように伝えながら小学生を連れて高台へ避難した。あらかじめ決めていた避難場所に幼稚園児も合流した。</li> <li>・さらに危険を感じた生徒達は、さらに高台へ避難</li> <li>・津波避難所になっている介護福祉施設に到着するが「まだ危険だ」と判断</li> <li>・最後に石材店にたどりつく。結局、介護福祉施設の直前まで津波がやってきた。</li> </ul> <p>○【資料-405】～【資料-409】を順に見せながら説明する。</p> <p>【資料-405】当初、想定していた避難場所（津波で被災）</p> <p>【資料-406】小学生を連れて避難する釜石東中学校の生徒</p> <p>【資料-407】次にめざした介護福祉施設 右下の写真は、この施設から、子どもたちが避難して来た道路を撮影したもので壊滅的な被害を受けている。</p> <p>【資料-408】子どもたちが介護福祉施設に到着した直後の様子で、津波はこの数分後に施設のすぐ近くにまで到達した。</p> <p>【資料-409】最終的には子どもたちは石材店に避難した。介護福祉施設のすぐ近くまで被災した状況を読み取ることができる。</p> <p>○提示された情報をもとに発言するようにさせる。</p> <p>○生徒の発言を整理しながら、津波避難3原則を示し、ワークシート【資料-410】に記入させる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定にとらわれるな。</li> <li>・最善を尽くせ。</li> <li>・率先避難者たれ。もっとわかりやすい、なじみやすい表現のほうがよいのでは？</li> </ul> </div> <p>○釜石東中学校の生徒は、防災学習の中で、津波避難3原則を徹底して学んでいたことを知らせる。</p>

	学習活動と内容 主な発問・指示 (◇) 予想される子どもの反応 (・) など	指導上の留意点 支援 (○) と評価 (☆)
【展開】	<p>3 津波浸水予測図をどう活用すればよいかを考え、意見を交流する。</p> <p>◇津波浸水予測図はある方がよいですか、ない方がよいですか。津波避難3原則を踏まえて考えてみましょう。</p> <p>【1 ある方がよい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生の目安になる。</li> <li>・昔の津波被害の経験を活かせる。</li> </ul> <p>【2 ない方がよい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石市の状況を見ると、ない方が良かったと思う。</li> <li>・信用してはいけないものは、作っても仕方がない。</li> </ul> <p>【3 わからない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある規模の津波を想定した図ということを考えて活用しなければいけない。</li> </ul>	<p>○津波浸水予測図の想定を再度確認する。</p> <p>○和歌山県総合防災課のホームページにも、「これ（この想定）を上回る規模の地震や津波が発生する可能性もありますので…」と書かれていることを知らせる。</p> <p>○ワークシート【資料-410】に記入させる。</p> <p>○挙手で立場を明確にさせた後に、理由を発言させる。</p> <p>○発言が一方に偏る場合には、【資料-402】を再度提示し、津波浸水予測図の利点と問題点の両面にわたる意見が出るように配慮する。</p> <p>問題点：津波浸水予測図の想定にとらわれてしまう。</p> <p>利点：過去の津波の経験をもとに災害の規模をとらえる目安となる。 など</p> <p>○津波浸水予測図は、避難訓練を計画したり図上演習を行ったりする場合に参考になる。別途実施する、これらの活動において、津波浸水予測図の利点や必要性を気付かせる。</p>
【まとめ】	<p>4 授業を振り返り、考えをまとめる。</p> <p>◇ワークシートに授業の感想を書きましょう。</p>	<p>○ワークシート【資料-410】に記入させる。</p> <p>☆津波避難3原則を理解できたか。</p> <p>☆津波浸水予測図は安全を保証するものではなく、ある想定に基づいて作成されたものであることを理解したうえで、その活用を考えることができたか。</p>

出典：【資料-401】～【資料-409】は群馬大学大学院片田敏孝教授提供

高田地区においては、津波被害は、直接的にはそれほど心配いらぬように思いますが、昨年度大きな水害に見舞われました。災害つながりというわけではありませんが、この地域の水害対策に役立つ災害地図などの資料をつくっていただくと、地域の防災教育などに役立てることができると思うのですが、よろしくお願ひします。

「 津波避難 3 原則 」

- 
- 
- 

和歌山県の津波浸水予測図

このスペースに浸水予測図が想定している地震の規模等を記入させる。

1 ・ 2 ・ 3

1 ある方がよい 2 ない方がよい 3 わからない  
として、番号に○をつけさせる。

このスペースに生徒が自分の意見を記述し、話し合いの際にはメモを書き加える。

感想

高田中学校では、こう変更して使わせていただきました。

ワークシート

## ■対処行動を知る

年 名前

1. 写真1と写真2をみて、わかることを書いてみて下さい。
2. 写真3、ここにとどまっていたら（3階に避難していたら）どうなっていたでしょうか？
3. 津波浸水予測図について、どう思いますか？

- 1、なくてもよい      2、あったほうがよい      3、どちらともいえない

その理由は？

### 「津波避難三原則」

- 
- 
- 

### 感想

このような感想が書かれていました。（抜粋）

- ・安全区域にいても、非難しようと思いました。逃げるときには周りの人たちに声をかけて、できるだけ大勢で逃げようと思いました。
- ・想定はあくまで想定だと思いました、「ここは大丈夫だろう」はダメだとわかった。
- ・新宮市の津波への備えは甘いと思った。一人ひとりがこの重大さを知るために、市は市民を正しく導くべきだと思う。
- ・東日本大震災の津波の教訓を、生かしていくこと、これが私たちに今できることだと思う。